

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月8日

評価対象事業		評価者	環境保全課長 脇 一則		
環境-14	実施事業	衛生・害虫駆除事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境保全課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	環境汚染の防止	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努める。
効果	不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<p>・ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒、ねずみ、ハチ等昆虫の駆除相談・駆除業務を行った。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	12,982	12,778	当初予算(千円)	12,538		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	12,982	12,778	一般財源	12,538		
事業経費運営	人員配置数	1.5	1.5	人員配置数	1.5		
	人件費(千円)	11,501	11,568	人件費(千円)	11,628		
	総事業費(千円)	24,483	24,346	総事業費(千円)	24,166		
	市民1人当りの経費(円)	139	138	市民1人当りの経費(円)	137		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	1. 事業の方向性や手法も見直す必要があり、貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	スズメバチの巣の駆除費用を一部、市民の受益者負担としている。補助金制度に切り替えを予定しており、事業費の削減を図る。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input checked="" type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	委託業務化したスズメバチの巣の駆除業務については、市民の受益者負担を平成30年度に変更(3,240円→4,320円)し、今後も段階的に負担額を増やすことにより、予算規模の縮小を図っていく。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>・平成27年度からスズメバチの巣の駆除を市職員による直営から業者委託とし、市民からの受益者負担を導入し、一定の理解を得つつ、経年負担額を引き上げ、平成30年度の負担額は4,320円で実施した。</p> <p>・ユスリカやねずみ等の不快害虫等の駆除については、市民からの要望に対応して駆除事業を実施した。</p> <p>・河川や道路側溝等の市が管理する施設での不快害虫等の発生については、施設管理者が駆除を実施するように調整を進めていく。</p>
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	・スズメバチの営巣活動は、気候や気温に左右されるため、駆除の相談が一時期に集中する傾向があり、迅速な対応が求められる。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	・市民が負担する経費の一部負担の額を、平成29年度比1,080円増額し、これにより市が事業に要する委託料の支出額の抑制を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・平成31年度は、一部負担額を5,000円(消費税抜き)で実施、受益者負担金額の妥当性や公益性を鑑み、補助金への切り替えを検討する必要がある。 ・業者委託化によって、土曜日等の週末(閉庁日)にもスズメバチの巣の駆除実施が可能になったことは市民からも評価を得ている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	スズメバチの駆除について相談を受け、駆除した場合						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
スズメバチ駆除に対して早期解決を目指すため	目標値	800	800	600	600	620	620				
	実績値	1,011	403	359	557	593					
	達成率	126.4%	50.4%	59.8%	92.8%	95.6%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標値は駆除の見込み件数であり、気象条件に起因してスズメバチの活動が活発な年には駆除件数(実績値)が増加するが、活動が低調な年には件数が減少する。
-----------------------	---